● 取扱説明書(保証書含む)

緑点滅 緑点滅 かんたん接続で接続しています。

橙 橙 2.4 GHzで無線LANルーターに接続しています。 緑 橙 5 GHzで無線LANルーターに接続しています。

赤点滅 かんたん接続に失敗しました

AC アダプターをコンセントに差し込んで、本機に電源供給後、使

本機には電源 ON/OFF スイッチがついていません。しばらくお使

いにならない場合は、AC アダプターをコンセントから抜いてくだ

● ステーションモード時

● アクセスポイントモード時

AC アダプターについて

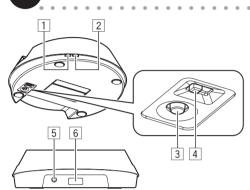
# APS-WF01J(ワイヤレスドック)

# セットアップガイド

本製品をネットワーク環境でお使いいただくための手順を説明しています。本機仕様などの説明は、取扱説明書をあわせてご覧ください。また、設定を始める前に、必ず取扱説明書の 2 ページの記載内容、「安全上のご注意」、「使 用上のご注意」および本セットアップガイドP.6の「電波に関するご注意」をお読みになったうえで、正しく認

- 同梱物として次のものが入っていることを確認してください。
- セットアップ CD-ROM(1 枚) ● ワイヤレスドック ● ドライブ横置き用シール(4枚)
- AC アダプター ● セットアップガイド(本書)
- \* 同梱されていない付属品がありましたら、お買い上げの販売店にご連絡ください。

<ORC8091-A>



### 1. ステータス LED 2. ワイヤレス LED

- ネットワーク接続状況や動作モードを表示します。
- 3. かんたん接続ボタン ステーションモード時、かんたん接続するのに押します。
- 4. モード切換スイッチ アクセスポイントモードとステーションモードを切り換えます。
- 5. DC 電源コネクター
- 6. USB コネクター USB 機器と接続します。

セットアップ CD-ROM からインストールを実行する場合は、コン ピューター内蔵のドライブ、または USB 接続による外付けドライブ

# 1. 付属のセットアップ CD-ROM をインストールします。



# 上がります。各アプリケーションの ● と ② の項目をご覧ください。

# フイヤレスドックと接続する USB 機 でない場合は、2のみインストー

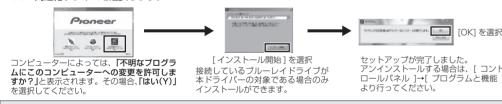
# ・セットアップ CD-ROM の各アプリケーションの最新版は、パイ

オニアホームページ(http:/からダウンロードできます。 -ジ (http://pioneer.jp/support/download/ ZIP ファイルで圧縮されている場合は、コンピューターにダウ ロード後、解凍し、.msi や.exe の拡張子がついたファイルを実 行してください。そのあとの手順は CD-ROM からのインストール手順と同じです。 Pioneer BD Drive Utility については、ドライブの取扱説明書をお読みのうえ、正しいアプリケーションをインストールしてください。

■ ワイヤレス対応高速 USB ドライバーのインストール パイオニア製ブルーレイドライブ専用ですので、他の USB 機器をご使用の場合はインストール不要です。

- 本ドライバーをインストールすることにより、ワイヤレスでブルーレイディスクや DVD を安定して再生できるようになります。ブルーレイディスクの再生など、データレートが高い場合に必要となりますので、必ずインストールしてください。
- また、本ドライバーはドライブごとにインストールする必要があります。必ずご使用のドライブをコンピューターと接続したうえでインストールしてください。すでに別のバイオニア製高速ドライバーをインストールしている場合は、アンインストールしてからコンピューターを再起動し、
- 1.USB 高速化ドライバを選択します。

KANA \* A

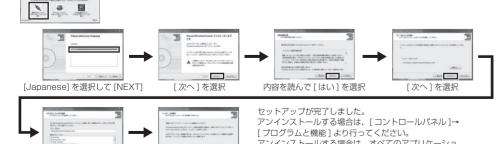


動作確認済みのパイオニアブルーレイドライブ(BDR-XDO4/BDR-XSO5/BDR-XUO2)のみ高速動作が可能です。それ以外のドライブでもワイヤレスドックに接続できますが、本高速ドライバーは機能しません。最新の動作確認済みブルーレイドライブについては、パイオニアホームページ(http://pioneer.jp/bdd/products/)でご確認ください。

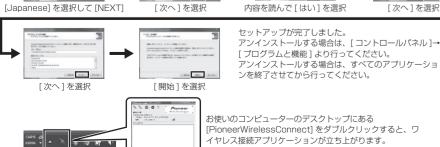
# PioneerWirelessConnect(ネットワーク接続用アプリケーション)のインストール

お持ちの USB デバイスを USB ワイヤレス接続で使用するのに必要なアプリケーションです。次の手順に従ってインストールしてください。 1.接続アプリケーションを選択します。

コンピューターによっては、**「不明なブログラムにこのコンピューターへの変更を許可しますか?」**と表示されます。



インストール完了後は、セットアップ CD-ROM を取り出してからコンピューターを再起動してください。



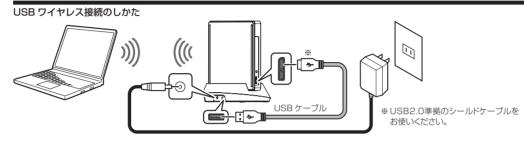
その場合、「はい (Y)」を選択してください。

# ワイヤレスドックの設置

# 1 USB ドライブと接続する







ワイヤレスドックを持ち運んだり移動したりする場合は、ブルーレイドライブの部分を持たないでください。ブルーレイドライブがワイヤレスドックから抜けて落下し、故障の原因になります。ワイヤレスドックの部分を持って移動してください。

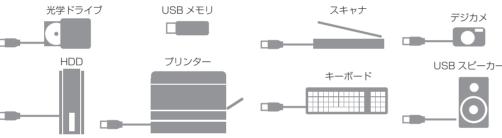
● ブルーレイドライブに AC アダプターを接続する必要はありません。 ● AC アダプターをコンセントに差し込むと、ワイヤレスドックが自動的に起動します。

# 2 その他の USB 機器と接続する

本機ワイヤレスドックと USB ケーブルで接続するだけで、次のような USB 機器がワイヤレスで使用できます。

● すべての USB 機器との接続動作を保証するわけではありません

● 動作確認済み機器については、パイオニアホームページ (http://pioneer.jp/bdd/products/) をご確認ください。



# アクセスポイントモードとステーションモードについて

本機は、無線ネットワークにより無線 LAN ルーターやコンピューターと接続することができます。 お使いの環境により接続方法をお選びください。 ● 電波干渉や他のネットワーク機器の影響もあるので、必ず高速転送できるとは限りません。

● ワイヤレスドック、無線 LAN ルーター、コンピューターの距離が近すぎても、通信性能が落ちる場合があります。それぞれの距離を 1 m くらいにすることで改善することがあります。

## アクセスポイントモードでの接続



- 本モードで接続中、コンピューターでは無線 LAN インターネット 接続ができません。 ● インターネット接続をしたい場合は、ブロードバンドルーターなど と有線 LAN 接続するかコンピューターにワイヤレス LAN モジュー
- ルを2基搭載する必要があります。
- コンピューターにワイヤレス LAN モジュールを 2 基搭載する場合 「トラブルと対策」(P.5)の関連事項をお読みください。

## ステーションモードでの接続 1



- 転送速度が 1/2 になります。
- 無線 LAN ルーターがインターネットに接続されている場合は、無線 LAN でのインターネット接続が可能です。
- 転送速度が制限されるため、ブルーレイディスクがうまく再生でき

## ステーションモードでの接続2



- 無線 LAN ルーターがインターネット接続されていれば、インターネットを使用できます。
- 高速転送のため、ブルーレイディスクも再生できます。
- 電波干渉や他のネットワーク機器の影響もあるので、必ず高速転送できるとは限りません。

# 無線 LAN で接続する(アクセスポイントモード)

ワイヤレスドックを無線 LAN の親機として設定し、コンピューターと直接接続します。コンピューターと直接接続するため、転送速度が速くなります。

# 1. ワイヤレスドック底面にあるスイッチを アクセスポイントモードに入れます。 ワイヤレスドック底面

# 2. AC アダプターをコンセントに差し込んで、本機の電源を

約20秒後、ワイヤレス接続できる状態になると、ワイヤレス LED が緑色に点灯します。ネットワーク接続の方法は、Windows OS のバージョンにより異なりますので、各 OS での接続の方法を確認 してください (P.3)。 初期状態では 2.4 GHz に設定されていますので、ステータス LED は橙色に点灯します。

- 本機の電源を切ったあとに、モード切換スイッチをアクセスポイントモードに変更してください。
- アクセスポイントモードに変更したあと、本機の電源を入れてく ださい。モードの認識は電源供給後に行います。

### Windows XP の場合

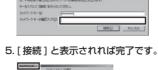
- 1.[スタート]→[設定]→[ネットワーク接続]→[ワイ 1.[スタート] → [コントロールパネル] → [ネットワーク ヤレスネットワーク接続] → [ワイヤレスネットワークの 表示]の順にクリックします。
- 2.本機の底面ラベルに記載されている SSID (WBD-xxx) 2.本機の底面ラベルに記載されている SSID (WBD-xxx) を選んでダブルクリックします。 を選んでダブルクリックします。



### 3. ラベルに記載されている KEY を入力します。



# 4. KEY を再入力 → [接続]をクリックします。



コンピューターによっては、設定手順が異なる場合があります。 詳しくは、コンピューターの取扱説明書をご確認ください。 [スタート] → [コントロールパネル] → [ネットワークとインターネット接続] → [ネットワーク接続] → [ワイヤレス接 続]→[ワイヤレスネットワークの表示] または、[スタート]→[接続]→[ワイヤレスネットワーク接続]→[ワイヤレスネットワーク接続]→[ワイヤレスネットワーク接続の表示]

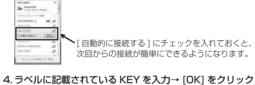
### Windows 7 の場合

共有センター]→[ネットワークに接続]の順にクリック

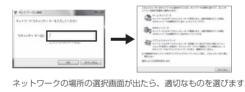
2. 本機の底面ラベルに記載されている SSID (WBD-xxx) を選んでダブルクリックします。



### 3. [接続]をクリックします。



# します。



# 5. [接続]と表示されれば完了です。



# Windows 8 の場合

Windows Vista の場合

P count and other

します。

完了です。

るようになります。

Or town of the

共有センター] → [ ネットワークに接続] の順にクリック

3. ラベルに記載されている KEY を入力→ [OK] をクリック

4. [(SSID 文字列) に正しく接続しました] と表示されれば

[ このネットワークを保存します ] および [ この接続を自動的に開始

します] にチェックを入れておくと、次回からの接続が簡単にでき

1. [スタート] → [コントロールパネル] → [ネットワーク 1. デスクトップのネットワークアイコンをクリックします。



### 3. ラベルに記載されている KEY を入力→ [次へ]をクリッ クします。

[自動的に接続する]にチェックを

簡単にできるようになります。



### 4. [PC の共有を ON にしてこのネットワークのデバイスに 接続しますか]と表示されたら、[はい、共有を ON にし てデバイスに接続します]をクリックします。

接続できた場合でも[制限あり]と表示されることがあります。 本機に接続した場合、本機を親機としたネットワークではインター ネットが閲覧できないため、このような表示になりますが、接続に

# ▶無線 LAN で接続する(ステーションモード)

無線 LAN ルーターをお持ちの場合、本機をステーションモード(無線 LAN の子機)として使用することができます。

アクセスポイントモードに比べると転送速度は低下します。 1. ワイヤレスドック底面にあるスイッチをステーションモー



## 2. AC アダプターをコンセントに差し込んで、本機の電源を 電源が入ると、ステータス LED とワイヤレス LED が橙色に点滅し

3.かんたん接続ボタンを押します。 本機が無線 LAN 親機(無線 LAN ルーター)に認識されます。

 $||\mathbf{B}|(\mathbf{Q})|($ 



### 4. かんたん接続ボタンを3~5秒間押し続けます。 ステータス LED とワイヤレス LED の両方が緑色に点滅します。

- 本機のかんたん接続ボタンを押したあと、無線 LAN 親機のかん たん接続に相当するボタン (無線 LAN 親機メーカーにより名称 が異なる場合があります)を押します。約30~60秒後に、ステー タス LED とワイヤレス LED の両方が橙(2.4 GHz 接続)また は緑と橙(5 GHz 接続)になっていれば、接続完了です。 ワイヤレス LED が赤で点滅している場合は、かんたん接続失敗です。再度、本機と無線 LAN ルーターのかんたん接続ボタンを
- 電波干渉や電波状態により、接続に失敗することがあります。
- 数回接続を確認しても接続できない場合は、お使いの無線 LAN 数回するいではいています。 ルーターをいったん初期化してから、再度本機と無線 LAN ルーターのかんたん接続ボタンを押して接続してください。 無線 LAN ルーターの初期化の方法については、無線 LAN ルーターの取扱説明書をご覧ください。

## 無線 LAN 接続を手動で設定する

かんたん接続ボタンを押しても接続できない場合、またはかんたん接続ボタンのない無線 LAN ルーターをお使いの場合は、次のよ うに操作してください。

- . 本機をアクセスポイントモードに変更して、コンピューター と接続します (P.2)。
- 2. コンピューターで PioneerWirelessConnect を立 ち上げます。
- . [▼アクセスポイント設定] → [無線LAN] をクリックします 4. ユーザーに [root] と半角小文字で入力→ [OK] をクリック

パスワードは空白のままにしてください。

5. 無線 LAN ルーターの [SSID] と [KEY] を入力します。 ・ [KEY] はお使いのルーターによって、「パスワード」または [PSK] と記載されている場合があります。

• 暗号化方式などは、お使いの無線 LAN ルーターのネットワー

- ク設定と同じものを選択してください。 SSID を入力
- 6. [設定更新] をクリックします。
- 7. 本機の AC アダプターをコンセントから抜き、ワイヤレス ドック底面にあるモード切換スイッチをステーションモー
- B. AC アダプターをコンセントに差し込みます。
- 本機の電源を切ったあとに、モード切換スイッチをステーション モードに変更してください ステーションモードに変更したあと、本機の電源を入れてください。モードの認識は電源供給後に行います。

# 

PioneerWirelessConnect の設定をします。

お使いのコンピューターのタスクバーにある

ワーク接続に問題がないか確認してください。

Va 2 + 5 · Proneer

MATERIAL NO. 1904

Ploneer Corporation PIONEER BD-RW BDR-XS05
thm error form States (no.045) (St.5)

### PioneerWirelessConnect を使って、コンピューターと かんたん切替を使う (アクセスポイントモードのみ) ワイヤレスドックを接続する

PioneerWirelessConnect の使いかた

無線LANの接続が完了したら、お手持ちのコンピューターで できます。 1. 設定ボタンをクリックします。

# Model Person TELETIFIC Visions LAN SELTIN FOR C. Ploneer Corporation PIONEER BD-RW BDR-XSO.

## 2.[このネットワーク接続に対してかんたん切替を使う]に 2. 接続可能な機器(本機)をダブルクリックして接続します。



3. [接続可能です]の表示が消え、[あなたが使用中です]

の表示が出れば接続完了です。 接続が完了しました

- ① タスクバーを開いて

をクリックしてください。それでも表示されない場合は、ネット

更新ボタン

┛━ ダブルクリック

切断を切り換えられます。



接続が失敗した場合は、通信チャネルの変更を行うと安定することがあります。通信チャネルの変更については、「無線 LAN の 設定を変更する (5 GHz 帯を使用する)」(下記) をご覧ください。 手順2で接続可能な機器(本機)が認識されない場合は、接続/ 切断のダブルクリックを数回繰り返すことで、認識されることが あります。

### 1. PioneerWirelessConnect を立ち上げます。 設定ウィンドウが開きます。 PioneerWirelessConnect のアイコンをクリックします。

# します。 接続可能な機器(本機)が表示されていない場合は[更新ボタン]





# 4. ネットワークを元の状態に戻すには解除ボタンを押して ください。



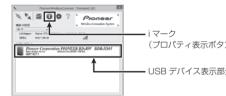
# 無線 LAN の設定を変更する(5 GHz 帯を使用する)

本機では、802.11a/b/g/nがお使いになれます。より高速な通信を行いたい場合、5 GHz 帯での802.11nをお使いください。

● 工場出荷時は、2.4 GHz 帯に設定されています。
● 市使いのコンピューターが 5 GHz 帯に対応していない場合は、設定を変更しないでください。
● 誤って 5 GHz 帯に変更してしまった場合は、「すべての設定をお買い上げ時の設定に戻す」 (P.5) をお読みいただき、ワイヤレスドックの

# 2. USB デバイス表示部分を選択して右クリック→ [ プロパ

ティ]をクリック、または USB デバイス表示部分を選 択し、iマークをクリックします。



## 3.[設定ページを開く]をクリックします。



4. [▼アクセスポイント設定] → [無線 LAN] をクリック



7. [OK] をクリックします。

# ・ 再起動後は周波数が変わっていますので、Web 画面での接続か できなくなります。再度アクセスポイントモードでの接続設定を行ってください。接続すると 5 GHz 帯域の通信を行えるよう

1 ch~13 chまでが2.4 GHz帯

36 ch~48 chまでが5 GHz帯

# 無線 LAN 接続の詳細を変更する

通常 2.4 GHz から 5 GHz への変更以外は、設定を変更する必要はありません お使いのホームネットワーク環境により、変更が必要な場合は[ヘルプ]をご覧ください。

## げます。 2.変更したい項目を選択します。

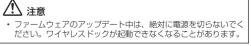
# 他の機器と重複した場合、変更できます。

ワイヤレスドック底面ラベルに記載されている KEY を変更できます。 他の機器と重複した場合、変更できます。

デフォルトゲートウェイ 無線 LAN ルーターと競合して、インターネットに接続できなく なった場合、[0.0.0.0] に変更してください。

[0.0.0.0] でお使いください。

# 定する場合のみ変更してください。



### 1.パイオニアのホームページ (http://pioneer.jp/support/download/) から最新の ファームウェアをコンピューターにダウンロードします。

2. コンピューターで PioneerWirelessConnect を立ち上

正常に終了すれば、アップデートの完了です。

# かんたん切替を使うと、ネットワークの切り替えを簡単に行うことが

# チェックを入れ、ワイヤレスドックの SSID をクリック



ネットワークが切り換わり、本機が表示されます。







### 1. コンピューターで PioneerWirelessConnect を立ち上 5. ユーザーに [root] と半角小文字で入力→ [OK] をクリッ クします。 パスワードは空白のままにしてください。

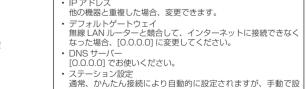


クリックします。





# 1. コンピューターで PioneerWirelessConnect を立ち上 変更可能な項目は次のとおりです。



ワイヤレスドックのファームウェアをアップデートする



3. [新しいファームウェア] → [参照]をクリックして、ダ



# すべての設定をお買い上げ時の設定に戻す

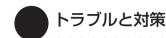
モード切換スイッチは、初期状態ではアクセスポイントモード側です。アクセスポイントモード側にスイッチを切り換えてください。

1. 本機のかんたん接続ボタンを押しながら、AC アダプターをコンセントに差し込みます。

# ⚠ 注意

・ 初期化中に途中で電源を切らないでください。操作を誤った場合は、AC アダプターをいったんコンセントから抜き、手順 1 から操作を

- 2. 本機の電源が入り、ワイヤレス LED が赤色に点灯したら (2 秒~3 秒かかります)、かんたん接続ボタンから指を放します。 約 20 秒後、正常に初期化が完了すると、ワイヤレス接続が可能な状態となり、ワイヤレス LED が緑色に点灯します。また、初期状態では 2.4 GHz に設定されているので、ステータス LED は橙色に点灯します。
- 3. 初期化が完了しました。



トラブルと対策については、取扱説明書にも記載があります。あわせてご確認ください。

### 動画再生中に絵がカクカクすることがある。

・電波干渉を受けている可能性があります。他の無線 LAN 機器が近くにあり、同じ周波数を使用しているようなときは、 チャネル(周波数帯)を変えることで改善する場合があります。

【対応方法】「無線 LAN の設定を変更する (5 GHz 帯を使用する)」(P.4) に書かれている [通信チャネル] の設定 を参考に、2.4 GHz 帯を使用の場合、現在の設定を 1 ch ~ 6 ch → 7 ch ~ 12 ch ~、5 GHz 帯を使用の場合、 現在の設定を 36 ch ~ 40 ch → 44 ch ~ 48 ch ~ 変更してみてください。(ステーションモード時はアクセスボ イントである無線 LAN ルーター側の設定を変える必要があります。変更方法は、無線 LAN ルーターの取扱説明書 をご覧ください。)

- ・一部常駐アプリケーションには、アクセスポイントを定期的に検索するような機能を持ったものがあります。その機 能が優先されていると、本機との接続を一時的に中断するため、絵がカクカクすることがあります。影響を与えてい るアプリケーションを終了させると改善する場合があります。
- ・ブルーレイ 3D ディスクの再生は、データ転送量が非常に多くなるため、USB 有線接続で視聴してください。
- ・本機は、アクセスポイントモードとステーションモードの両方の機能を持っています。ステーションモード(本機と 無線 LAN ルーターとを接続することにより、同じネットワークのコンピューターで本機を使用する環境)をお使い の場合は、最大転送速度がアクセスポイントモード(本機とコンピューターを直接接続して使用する環境)の場合の 1/2になります。ブルーレイディスクを再生する場合は、アクセスポイントモードをご使用ください。
- ・ブルーレイディスク(2D)の最大データ転送量は 54 Mbps です。無線 LAN アダプターの仕様としては、最大 300 Mbps の 802.11 a/n MIMO (2 x 2) をご使用ください。内蔵無線 LAN モジュールの性能によりブルーレ イディスクの動画再生が安定しない場合は、300 Mbps 規格の USB タイプの無線 LAN モジュールをご使用いただ くことにより、安定した動画の再生ができる場合があります。
- ・コンピューター、無線 LAN ルーター、ワイヤレスドックの距離が近すぎて通信性能が落ちる場合があります。距離 を 1 m くらいにすることで改善することがあります。
- 2.4 GHz 帯は、無線 LAN 関連機器以外にもいろいろな機器で使用されており、電波干渉を受ける可能性があります また、電子レンジなどの機器からの影響により電波障害が発生することがあります。2.4 GHz 帯をご使用の場合は、 5 GHz 帯のチャネルに変更することで改善することがあります。

### ワイヤレスドックと接続したあと、インターネットに接続できない。

・アクセスポイントモードでワイヤレスドックに接続しているとき、別のネットワークに接続しないとインターネット は閲覧できません。別のネットワークに接続できない場合は、ワイヤレスドックのご使用後、インターネット接続に 切り換える必要があります。

【対応方法】「ネットワーク接続1より SSID を切り換えてください。または、「PioneerWireless Connect の使いかた (P.4) の「かんたん切替を使う」をご覧いただき、設定後に切り替えてください。

### アクセスポイントモードで周波数を変更したら、SSID リストに本機の SSID (WBD-xxx) が 表示されない。

お使いのコンピューターが5 GHz 帯に対応していない可能性があります。 【対応方法】「すべての設定をお買い上げ時の設定に戻す」(上記)をご覧になり、初期化してください。

## ワイヤレスドックの 802.11ac 対応状況

本機は802.11acに対応していません。

# ブルーレイディスクを視聴しているときに、SSID リストを表示させると、動画がカクカクする。

· SSID リスト(ネットワークのアクセスポイント接続先一覧のことです。コンピューター画面右下のショートカット アイコンやネットワーク接続により表示されます)を表示するとコンピューターがネットワークスキャン動作を行う ため、動画のデータ転送が一時的に中断するためです。

## USB-DAC で音楽を聴いているときに、SSID リストを表示させると、音楽にノイズが出る。

· SSID リストを表示するとコンピューターがネットワークスキャン動作を行うため、音声のデータ転送が一時的に中

## BD Live を利用したいのですが、ワイヤレスドックに接続していると、利用できない。

·BD Live を利用する場合は、インターネットに接続した無線 LAN ルーターをアクセスポイントとして、ステーショ ンモードでお使いいただくか、またはコンピューターで複数のネットワークを同時に使用する環境が必要です。動作 に問題がある場合は、USB 有線接続でご使用ください。

## コンピューターから AC アダプターを外すと、動画がカクカクする。

お使いのコンピューターの省雷力機能により、コンピューターのパフォーマンスが下がっている可能性があります。 [コントロールパネル]→[電源の設定]でバッテリー駆動時のパフォーマンスを下げないよう設定してください。設 定してもスムーズにならない場合は、お使いのコンピューターの仕様により、バッテリー駆動時の省電力機能を外せ ない場合があります。コンピューターの取扱説明書をご覧ください。動作改善しない場合は、コンピューターに AC アダプターを接続してお使いください。

## ワイヤレスドックとネットワーク接続ができない。

アクセスポイントモード時は、SSIDまたはネットワークKEYを間違って設定した可能性があります。ワイヤレスドッ クの底面をご確認のうえ、再度設定してみてください。

# ワイヤレスドックとはネットワーク接続できているのに、ブルーレイドライブが認識できない。

- ・ウィルス対策ソフトとの相性が悪いことがあります。ウィルス対策ソフトを最新にアップデートすると改善する場合
- ・ウィルス対策ソフトの中には「ファイヤーウォール」の設定により、ネットワーク機器を認識させない場合があります。 強度設定を変更することにより認識する場合があります。また、ワイヤレスブルーレイドライブを「公共」「パブリ ク」のネットワークにしていると認識しない場合があります。「ホーム」「プライベート」にすることで認識する場合 があります。
- ・コンピューター起動後は、PioneerWirelessConnect でコンピューターとワイヤレスドックに接続しているブルー レイドライブを接続する必要があります。P.4の「PioneerWirelessConnect の使いかた」をご覧いただき、ブルー レイドライブを接続してください。

## マルチホーム環境のご注意

・内蔵無線 LAN の他に USB タイプの無線 LAN を増設しているコンピューター環境の場合、本接続アプリケーション が複数無線 LAN の環境を制御する必要があります。必ず、無線 LAN 子機をコンピューターに接続してから、本接 続アプリケーションをインストールするようにしてください。あとで増設する場合は、いったん本接続アプリケーショ ンをアンインストールしてから、無線 LAN 子機をコンピューターに接続し、その後再度インストールするようにし

## データ記録中または再生中にエラーメッセージが表示されたり、データ記録や再生に失敗したり する。または、データ記録や再生に非常に時間がかかる。

・電波干渉を受けている可能性があります。他の無線 LAN 機器が近くにあり、同じ周波数を使用しているようなときは、 チャネル(周波数帯)を変えることで改善する場合があります。

【対応方法】「無線 LAN の設定を変更する (5 GHz 帯を使用)」(P.4) に書かれている 「通信チャネル」の設定を参考に  $2.4~\mathrm{GHz}$  帯をお使いの場合、現在の設定を  $1~\mathrm{ch}\sim 6~\mathrm{ch}$  から  $7\mathrm{ch}\sim 12~\mathrm{ch}\sim .5~\mathrm{GHz}$  帯をお使いの場合、現在の 設定を  $36\,\mathrm{ch}\sim40\,\mathrm{ch}$  から  $44\,\mathrm{ch}\sim48\,\mathrm{ch}$  へ変更してください。ステーションモード時はアクセスポイントである 無線 LAN ルーター側の設定を変更する必要があります。変更方法については、お使いの無線 LAN ルーターの取扱説明 書をご覧ください。それでも改善しない場合は、USB有線接続に変更して、データ記録や再生を行ってください。

### 本機とブルーレイドライブ以外の USB 機器を接続したい。

- 一般的な USB デバイスなら認識し使用することができます。ただし、使用する場合の定格は 500 mA です。定格を 守るようにしてください。
- ・USB接続のスピーカーをお使いの場合、ノイズが出たり音が出なかったりすることがあります。 その場合は、コンピュ-ターに直接接続してお使いください。
- ・USB ハブを経由して本機に USB 機器を接続することもできますが、USB ハブ経由の接続については動作保証および 動作検証しておりません。USB ハブのバスパワー供給能力が足りない場合もありますし、本機が認識できない場合も あります。

### ネットワーク KEY を変更したらネットワーク接続できなくなった。

· WIndows OS が変更前のネットワーク KEY を記憶している場合があります。ネットワーク接続のプロパティでネット ワーク KEY を変更後の内容に書き換えてください。また、ネットワーク KEY がわからなくなった場合は、本機を初期 化してお買い上げいただいた状態に戻してからご使用ください。

### アクセスポイント/ステーションモード切換スイッチが効かない。

・アクセスポイントモードとステーションモードの切り換えは、AC アダプター接続時の起動時のみです。スイッチを切 り換え後、ACアダプターをコンセントから抜いて、もう一度差し込んでください。

・アクセスポイントモード時、ステーションとして5台のコンピューターと同時接続が可能です。ただし、本機ワイヤレ スドックに接続する機器は USB 機器として認識されるため、同時に複数のコンピューターからはご使用できません。

### コンピューターに無線 LAN モジュールが2つあるのに、無線 LAN ルーターに接続している方で インターネットに接続できない。

デフォルトゲートウェイは、初期状態で「192.168.17.10」になっています。1 台のコンピューターでデフォルトゲー トウェイが2つ競合し、インターネットに接続できなくなる場合があります。その場合は、デフォルトゲートウェイを 「0.0.0.0」に変更することで改善することがあります。

### 無線 LAN ルーターとかんたん接続ができない。

一部の無線 LAN ルーターでかんたん接続の使用に制限があるものがあります。 無線 LAN ルーターの電源を入れてから 無線 LAN ルーターの起動完了後、ワイヤレスドックの電源を入れ、かんたん接続することで改善する場合があります。

# 電波に関するご注意

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、 家庭環境で使用することを目的としていますが、この 装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用さ れると、受信障害を引き起こすことがあります。 取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

## 電波に関するご注意

本機は、2.4 GHz の周波数帯の電波を利用しています。この 周波数の電波は、一般家庭でもいろいろな機器(電子レンジ やコードレスフォンなど)で使用されています。 以下のような場所で本機を使用する場合、送信/受信ができ

- なくなることがあります。 • 2.4 GHz を利用する無線 LAN、また電子レンジなどの機 器の磁場、静電気、電波障害が発生するところ。(環境に より電波が届かない場合があります。)
- ラジオから離してお使いください。(ノイズが出る場合が あります。)
- テレビにノイズが出た場合、本機(および本機対応製品) がテレビ、ビデオ、BS チューナー、CS チューナーなど のアンテナ入力端子に影響を及ぼしている可能性があり ます。本機(および本機対応製品)をアンテナ入力端子か ら遠ざけて設置してください。

- 本機の使用によって発生した損害については、法令上賠償 責任が認められる場合を除き、当社は一切の責任を負いか ねます。あらかじめご了承ください。
- 本機は、すべての無線 LAN 機器との接続動作を保証する
   [2.4] : 2.4 GHz 帯を使用する無線設備を示す ものではありません。
- 弊社ではお客様のネットワーク接続環境、接続機器に関す る通信エラーや不具合について、一切の責任を負いかねま す。あらかじめご了承ください。プロバイダーまたは各接 続機器のメーカーにお問い合わせください。

## 安全にお使いいただくために

- は使用しない。電子機器に誤動作するなどの影響を与え、るご注意 事故の原因となる恐れがあります。
- 航空機内や病院など、使用を禁止された場所では使用しな 使用できるチャネルは動作モードによって異なります。 いでください。雷子機器や医療用電気機器に影響を与え、 事故の原因となる恐れがあります。医療機関などの指示に 従ってください。

### -----ご注意いただきたい電子機器の例

補聴器、ペースメーカー、その他医療用電気機器、火災報知なります。 器、自動ドア、その他自動制御機器など。 ペースメーカー、その他医療用電気機器をご使用される方は、

該当の各医療用電気機器メーカーまたは販売業者に電波によ る影響についてご確認ください。

\_\_\_\_\_\_

## 電波法に基づく認証について

本機は電波法に基づく小電力データ通信の無線設備として認 証を受けています。したがって、本製品を使用するときに無 線局の免許は必要ありません。また、本製品は、日本国内の みで使用できます。ただし、以下の行為を行うと法律により 罰せられることがあります。

- 本機を分解/改造すること。
- 本機に貼ってある証明ラベルをはがすこと。

# 周波数について

この無線機器は 2.4 GHz 帯を使用します。変調方式として DS-SS 変調方式および OFDM 変調方式を採用し、想定され る与干渉距離は約 40 m です。

の機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・ 医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用されている 移動体識別用の構内無線局(免許を要する無線局)および特定 小電力無線局(免許を要さない無線局)並びにアマチュア無線 局(免許を要する無線局)が運用されています。

この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線 局および特定小電力無線局並びにアマチュア無線局が運 用されていないことを確認してください。

- 一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有 害な電波干渉の事例が発生した場合には、すみやかに使用 周波数を変更するか、または電波の発射を停止したうえ で、下記ご相談窓口にご連絡いただき、混信回避のための 処置など (たとえば、パーティションの設置など)につい てご相談ください。
- その他、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あ るいはアマチュア無線局に対して有害な電波干渉の事例 が発生した場合など、何かお困りのことが起きたときは、 エスティトレード テクニカルサポートセンター(取扱説 明書記載)にお問い合わせください。

## 2.4 GHz無線LAN表記の意味について

# 2.4 DS/OF 4

- [DS/OF]: 変調方式 DS-SS 方式 /OFDM 方式を示す
- [4] : 想定干渉距離が 40 m 以下であること : 全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を 回避可能であることを意味する

5 GHz 帯の W52/W53 は、無線 LAN および電波法の規制 により野外では使用できません。

# ・ 高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くで 使用周波数帯とチャネル番号に関す

-	アクセスポイントモード時	W52 および 1 ch ~ 13 ch
-	ステーションモード時	W52/W53/W56 および 1 ch~13 ch

# W52/W53/W56 のチャネルと中心周波数は以下と

36 ch (5180 MHz), 40 ch (5200 MHz), W52 44 ch (5220 MHz), 48 ch (5240 MHz) 52 ch (5260 MHz), 56 ch (5280 MHz), W53 60 ch (5300 MHz), 64 ch (5320 MHz) 100 ch (5500 MHz), 104 ch (5520 MHz) 108 ch (5540 MHz)、112 ch (5560 MHz)、

### 116 ch (5580 MHz)、120 ch (5600 MHz)、 124 ch (5620 MHz), 128 ch (5640 MHz), 132 ch (5660 MHz), 136 ch (5680 MHz), 140 ch (5700 MHz)

osoft、Windows 8、Windows 7、Windows Vista、Windows XP は、米国 Microsoft Corporation の米国およ びその他の国における登録商標または商標です。 ※ 商標・登録商標に関しては取扱説明書内にも記載があります。あわせてご確認ください。

# ソフトウェアのライセンスに関するお知らせ

原文(英語)を記載しています。

### thttpd 2.25b

eledistributions of source code must retain the above copyright notice, the state of conditions and the following disclaimer. From the state of conditions and the following disclaimer the above copyright notice, the state of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE AUTHOR AND CONTRIBUTORS

"AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES. INCLUDING, BUT
NOT LIMITED TO, THE MPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND
FITNESS FOR A PARTICULAR PUPPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT
SHALL THE AUTHOR OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT.
INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL
DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF
SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS;
OR BUSINESS INTERRUPTION)
HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN
CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR
OTHERWISE), ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE,
EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE. Some parts
of the httpd-2.25b are provided with the following copyright notices with
license noted above.

py: pyright © 1995, 1998, 2000 by Jef Poskanzer <jef@mail.acme.com>. pyright © 1996 by Jef Poskanzer <jef@mail.acme.com>. parts of the thttpd:2.25b are provided with the following copyright tices with license notted above opyright (c) 1988 Regents of the University of California. All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms are permitted provided that the above copyright notice and this paragraph are duplicated in all such forms and that any documentation, advertising materials, and other materials related to such distribution and use acknowledge that the software was developed the University of California, Berkeley. The name of the University may not be used to endorse or promote products derived from this software without specific prior written permission.

### ❖ iperf v2.0.4

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimers.

### ❖ GNU General Public License and GNU Lesser General Public License

This product includes the following software licensed for use under the terms of GNU General Public License v2. GNU Lesser General Public

- linux kernel 2.6.28. Copyright (C) 1991 Linus Torvalds. Licensed under BusyBox v1.16.2 multi-call binary. Copyright (C) 1998-2009 Erik Andersen, Rob Landley, Denys Vlasenko and others. Licensed under hfs v3.4 Copyright: (C) 2002-2009 Phillip Lougher Licensed under 8.
- You can get corresponding open source code from the following URL. www.uss-puolited.cult/10 bid-tay refer to the following URL for further information of GNU General 9. icense Version 2

copies of the software, or if you mounty it. For example, if you distribute copies of such a program, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that you have you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and (2) offer you this license which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations. Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

### TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

IND MODIFICATION

This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The 'Program', below, refers to any such program or work, and a 'work based on the Program' means either the Program or any derivative work under copyright law, that is to say, a work containing the Program or a protion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term 'modification'). Each licensee is addressed as you.

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this Licenses; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is not restricted, and the output from the Program is not restricted, and the output should be program. Whether that is true depends on what the Program does.

You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty. Keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty, and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the program. You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you are propriated to the program. The program is not constituted to the absence of any warranty, and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the program. You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you are not program. If the program is not copyright interest in the program. The program is a propropriate program and you are welcome to redistribute it under certain conditions.

consider it more useful to permit linking proprietary applications with the ibrary. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public isopped instead of this Lienger. GNU LESSER GENERAL PUBLICLICENSE

Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies of this license document, but changing it is not allowed. [This is the first released version of the Lesser GPL. It also counts as the successor of the GNU Library Public License, version 2, hence the version number 2.1.] Preamble

Freditible

The licenses for most software are designed to take away your freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public Licenses are netended to guarantee your freedom to share and change free softwareto make sure the software is free for all its users. This license, the Lesser General Public License, applies to some specially designated software packages-typically libraries-of the Free Software countains and other authors who decide to use it. You can use it too, but we suggest you first think carefully about whether this license or the ordinary General Public License is the better strategy to use in any particular case, based on the explanations below. articular case, based on the explanations below. Then we speak of free software, we are referring to freedom of use, not

When we speak of free software, we are referring to freedom of use, not price.

Our General Public Licenses are designed to make sure that you have the freedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish); that you receive source code or can get it if you want it; that you can change the software and use pieces of it in new free programs; and that you are informed that you can do these things. To protect your ingifus, we need to make restrictions that forbid distributors to deny you these rights or to ask you to surrender these rights because the certain responsibilities for you if you distribute copies of the library or if you modify it. For example, if you distribute copies of the library, whether gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that we gave you. You must make sure that they too, receive or can get the source code, if you link other code with the library, you must provide complete object files to the recipients, so that they can reliak them with the library after making changes to the library and recompiling it.

And you must show them these terms so they know their rights.

We protect your rights with a two-step method: (1) we copyright the library and (2) we offer you this license, which gives you legal permission to copy, distribute and/or modify the library.

To protect each distributor, we want to make it very clear that there is no warranty for the free library. Also, if the library is modified by someone else and passed on, the recipients should know that what they have is not the original version, so that the original author's reputation will not be affected by problems that might be introduced by others.

Finally, software patents pose a constant threat to the existence of any free program. We wish to make sure that a company cannot effectively restrict the users of a free program by obtaining a restrictive license from a patent holder.

illorary must be consistent with the full freedom of use specified in this license. Most GNU software, including some libraries, is covered by the ordinary GNU General Public License. This license, the GNU Lesser General Public License. We use this license for certain from the ordinary General Public License. We use this license for certain libraries in order to permit linking those libraries into non-free programs. When a program is linked with a library, whether statically or using a shared library, the combination of the two is legally speaking a combined work, a derivative of the original library. The ordinary General Public License therefore permits such linking only if the entire combination fits scritteria for linking other code with the library. We call this license the Lesser General Public License because it does Less to protect the user's freedom than the ordinary General Public License t also provides other free software developers Less of an advantage over competing non-free programs. These disadvantages are the reason we use the ordinary General Public License for many libraries. For exempla or organism, there a sheep lacense for many libraries.

the widest possible use of a certain library, so that it becomes a de-facto standard.

To achieve this, non-free programs must be allowed to use the library. A more frequent case is that a free library does the same job as widely used non-free libraries. In this case, there is little to gain by limiting the free library to free software only, so we use the Lesser General Public License. In other cases, permission to use a particular library in non-free programs enables a greater number of people to use a large body of free software. For example, permission to use the GNU C Library in non-free programs enables many more people to use the whole GNU operating system, as well as its variant, the GNU/Linux operating system. Although the Lesser General Public License is Less protective of the users' freedom, it does ensure that the user of a program that is linked with the Library has the freedom and the wherewithal to run that program using a modified version of the Library.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU LESSER GENERAL PUBLIC LICENSE

TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION

AND MODIFICATION

O. This License Agreement applies to any software library or other program which contains a notice placed by the copyright holder or other authorized party saying it may be distributed under the terms of this Lesser General Public License (also called "this License"). Each license is addressed as were this Lesser General Public License (also called this License'). Each licensee is addressed as you.

A library' means a collection of software functions and/or data prepared so as to be conveniently linked with application programs (which use some of those functions and data) to form executables. The Library below, refers to any such software bilary or work which has been distributed under these terms. A work based on the Library means either the Library any derivative work under copyright law; the solution of the library any derivative work under copyright law; the solution of the library any derivative work under copyright law; the solution of the library any derivative work under copyright law; the solution of the library and the solution of the library with modifications of the library complete source code making modifications to it. For a library, complete source code making modifications to it. For a library, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the library. Activities other than copyring, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running a program using the Library is not restricted, and output from such a program is covered only if its contents constitute a work based on the Library (independent of the use of the Library does. You may copy and distribute verbatim copies of the Library's complete source code as you receive it, in any medium, provided that you

sections when you distribute them as separate works, slid when based on the Library, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you, righer, the intent is to work written entirely by you, righer, the intent is to work written entirely by you, righer, the intent is to work written entirely by you, righer, the intent is to work shaded in the Library, in addition, mere aggregation of another work not based on the Library with the Library for wind works based on the Library with the Library for wind works based on the Library with the Library for wind works based on the Library with the Library for wind works based on the Library with the Library for works based on the Library with the Library for works based on the Library with the Library for wind the properties of the contained of this License to a given copy of the Library. To all the properties of the properties of the contained of this License to a given copy of the Library. To all the properties of the contained of this License to a given copy of the Library. To all the properties of the contained of this License to a given copy of the Library for the definition of the contained of the Library for the definition of the contained of

As an exception to the Sections above, you may also combine or link a "work that uses the Library" with the Library to produce a work

distribution.

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above

d) If distribution of the work is made by offering access to copy from a designated place, offer equivalent access to copy the above specified materials from the same place.

e) Verify that the user has already received a copy of these materials or that you have already sent this user a copy.

For an executable, the required form of the 'work that uses the Library' must include any data and utility programs needed for reproducing the executable from it. However, as a special exception, the materials to be distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

It may happen that this requirement contradicts the license restrictions of other proprietary libraries that do not normally accompany the operating system. Such a contradiction means you cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

all its terms and conditions to copying, distincting or insuffying the Library or works based on it.

10. Each time you redistribute the Library (or any work based on the Library), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute, link with or modify the Library subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third

apply, and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.
It is not the purpose of this section to induce you to infringe any

through that system in reliance on consistent application of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this Licensee.

12. If the distribution and/or use of the Library is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Library under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

13. The Free Software Foundation may publish revised and/or new

by the Free Software Foundation. If the Library does not specify a license version number, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

If you wish to incorporate parts of the Library into other free programs whose distribution conditions are incompatible with these, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software

## NO WARRANTY

### END OF TERMS AND CONDITIONS How to Apply These Terms to Your New Libraries

### -6-

W56

## では、本機に使われているソフトウェアの利用許諾(ライセンス)について記載しています。正確な内容を保持するために、

Copyright © 1995, 1998, 1999, 2000, 2001 by Jef Poskanzer < jef@ mail.acme.com>. All rights reserved.Redistribution and use in source and sinary forms, with or without modification, are permitted provided that the pollowing conditions are mat:

inse noted above. hvright © 1999, 2000 by Jef Poskanzer <jef@mail.acme.com>.

Copyright (c) 1999-2007, The Board of Trustees of the University of Illinois All Rights Reserved.

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software (lperf) and associated documentation files (the 'Software'), to deal in the Software without restriction, including without imitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimers in the documentation and/or other materials provided with the distribution. either the names of the University of Illinois. NCSA, nor the names of its introducts may be used to endorse or promote products derived from this of the products derived from the promission.

DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRAI TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE

ve of 2009.01-rc1 Wolfgang Denk and others. Licensed under GPLv2 : 2.5 Copyright (C) 1992-2006, 2007 Free Software Foundation, : Licensed under LGPL v2.1.

# Se refer to the information in Cicense Version 2. ://www.gnu.org/licenses/gpl-2.0.html sse refer to the following URL for further information of GNU Library leral Public License Version 2.1. ://www.gnu.org/licenses/old-licenses/lgpl-2.1.html

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE

reamble he licenses for most software are designed to take away your freedom is share and change it. By contrast, the GNU General Public License is tended to guarantee your freedom to share and change free software or make sure the software is free for all its users. This General Public cense applies to most of the Free Software Foundation's software and any other program whose authors commit to using it. (Some other Free oftware Foundation software is covered by the GNU Lesser General Public cense instead.) You can apply it to your programs, too, hen we speak of free software, we are referring to freedom, not price, ur General Public Licenses are designed to make sure that you have the eedom to distribute copies of free software (and charge for this service if you wish), that you receive source code or can get it if you want it, that you an change the software or use pieces of it in new free programs; and that you know you can do these things.

stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it. Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program or a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchapter or

Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange, or.

b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the test of softeether and above on a medium that the softeether company it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or plany form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable or object code is made by offering access

which the executable runs, unless that component itself accountpaines the executable. If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

icense will not have their licenses terminated so long as such parties emain in full compliance. You are not required to accept this License, since you have not signed to However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works hased on it.

You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program. If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply on the riccumstance. It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims. This section has the sole purpose of protecting the integrity of claims in the sole purpose of protecting the integrity of claims. This section has the sole purpose of protecting the integrity of claims or the graph of the purpose of the section to include you to infringe any patents or other graphication of that system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice. This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

The Free Software Foundation may publish reviseo and/or new versions.

The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and 'any later version', you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation. JNU GENERAL FOULD SEASON OF THE STATE OF THE SOLUTION OF THE SOLUTION OF THE STATE OF THE SOLUTION OF THE SOLU

you know you can do these things.

AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERWICING, REPAIR OR CORRECTION.

AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERWICING, REPAIR OR CORRECTION.

IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR ARREST TO INVESTIGATION WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE OF A 100 MINING WILL ANY CONTROLLED THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR

exclusion of warranty, and each file should have at least the 'copyright' line and a pointer to where the full notice is found.

<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.> Copyright (C) <yeer>

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software; where the software is the Company of the

other recipients of the Program a copy on this Liberiste during was a Program. You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may

copyright house for the Library anthing trent, as well as a fereience freeting the user to the copy of this License. Also, you must do one if these things.

Accompany he work with the complete corresponding machine-readile surce code for the Library including whatever changes readile surce code for the Library including whatever changes at all 2 shows), and if the work is an executable linked with the Library, with the complete machine-readable work that uses the Library, as object code and/or source code, so that the user can modify the Library and then relink to produce a modified executable containing the modified Library, (it is understood that the user who changes the contents of definitions files in the Library will not necessarily be able to recompile the application to use the modified definitions.)

Use a suitable shared library mechanism for linking with the Library. A suitable mechanism is one that (1) uses at run time a copy of the library already present on the user's computer system, rather than copying library functions into the executable, and (2) will operate properly with a modified version of the library, if the user installs one, as long as the modified version is interface-compatible with the version that the work was made with.

Accompany the work with a written offer, valid for at least three years, to give the same user the materials specified in Subsection 6a, above, for a charge no more than the cost of performing this distribution.

cannot use both them and the Library together in an executable that you distribute.

7. You may place library facilities that are a work based on the Library side-byside in a single library together with other library facilities not covered by this License, and distribute such a combined library, provided that the separate distribution of the work based on the Library and of the other library facilities is otherwise permitted, and provided that you do these two things:

a) Accompany the combined library with a copy of the same work based on the Library, uncombined with any other library facilities. This must be distributed under the terms of the Sections above.

b) Give prominent notice with the combined library of the fact that part of it is a work based on the Library, and explaining where to find the accompanying uncombined form of the same work.

3. You may not copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library except as expressly provided under this License, Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense, link with, or distribute the Library is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

9. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Library of the derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Library (or any work based on the Library), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing the Library complished by law if you do not accept the conditions for copying, distributing the Library (or any work based on the Library) and works based on it.

herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties with this License.

If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Library at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Library by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Library.

## -5-